

真庭市防災マップ^o

住民説明会

真庭市 市長直轄組織 危機管理課
株式会社パスコ

本日の説明内容

1. 防災マップ作成の背景と目的
2. 防災マップの作成方針
3. 防災マップの読み方・使い方
ご質問・意見

1. 防災マップ作成の背景と目的



防災マップ作成の背景と目的 ～近年の自然災害状況～

異常気象による自然災害

近年の**異常気象**により、短時間に狭い範囲で激しく雨が降る「集中豪雨」や、同じ場所で激しい雨が降り続ける「線状降水帯」などによる**自然災害が全国各地で発生しています。**

その影響で、各地で**洪水**や**土砂災害**が発生し、そのたびに尊い人命や財産が失われています。



また一方で、地震も全国各地で頻発しており、南海トラフ地震等の巨大地震の発生確率が高まる中、**いつ大きな地震災害が起きてもおかしくない状況にあります。**

防災マップ作成の背景と目的

～平成30年7月豪雨～

岡山県 倉敷市 真備町の小田川では堤防が決壊し、
介護施設、病院、学校をはじめ多数の家屋が浸水しました。
浸水深は、最大で約5メートルに達したと推定されています。



防災マップ作成の背景と目的 ～真庭市の被害状況～

真庭市でも「平成30年7月豪雨」によって、一部地域で浸水及び土砂災害が発生し、甚大な被害をもたらしました。



災害種類		被害戸数
洪水浸水	床上浸水	12戸
	床下浸水	56戸
土砂災害	がけ崩れ	1戸

出典：平成30年7月豪雨による被害状況等について（内閣府）

防災マップ作成の背景と目的

～防災マップ作成の背景①(ハード対策)～

自然災害への対策

自然災害を防ぐために、国や自治体では、**様々な防災対策（ハード対策）事業**を実施しています。



ハード対策イメージ：護岸工事



ハード対策イメージ：法面工事

しかし、これらの防災事業が完成するまでには、膨大な時間と費用を要します。また、想定以上の規模の自然災害が発生する可能性もあり、人命や財産を守るためには、**ハード対策だけでは、十分とは言えません。**

防災マップ作成の背景と目的

～防災マップ作成の背景②(ソフト対策)～

ハード・ソフト一体となった防災体制の確立

尊い人命を守るためには、ハード対策と併せて、
早期避難を中心とする **ソフト対策** が重要となります。

ソフト対策とは

- 確実な情報伝達
プッシュ型（緊急速報メール・エリアメール等）
プル型（テレビ、ホームページ、SNS等）
- **防災マップ**の作成、周知
- 防災教育・避難訓練の実施



防災マップで **危険箇所を把握** し、状況に応じた
適切な避難行動 を確認することが効果的です

防災マップ作成の背景と目的 ～防災マップの対象自然災害～

このような異常気象によって発生する自然災害
(**洪水**、**土砂災害**、**地震**など) に備え、**「逃げ遅れゼロ」** とともに、
「被害の最小化」 を目指す取組みが必要となります。

対象とする自然災害 (ハザード)

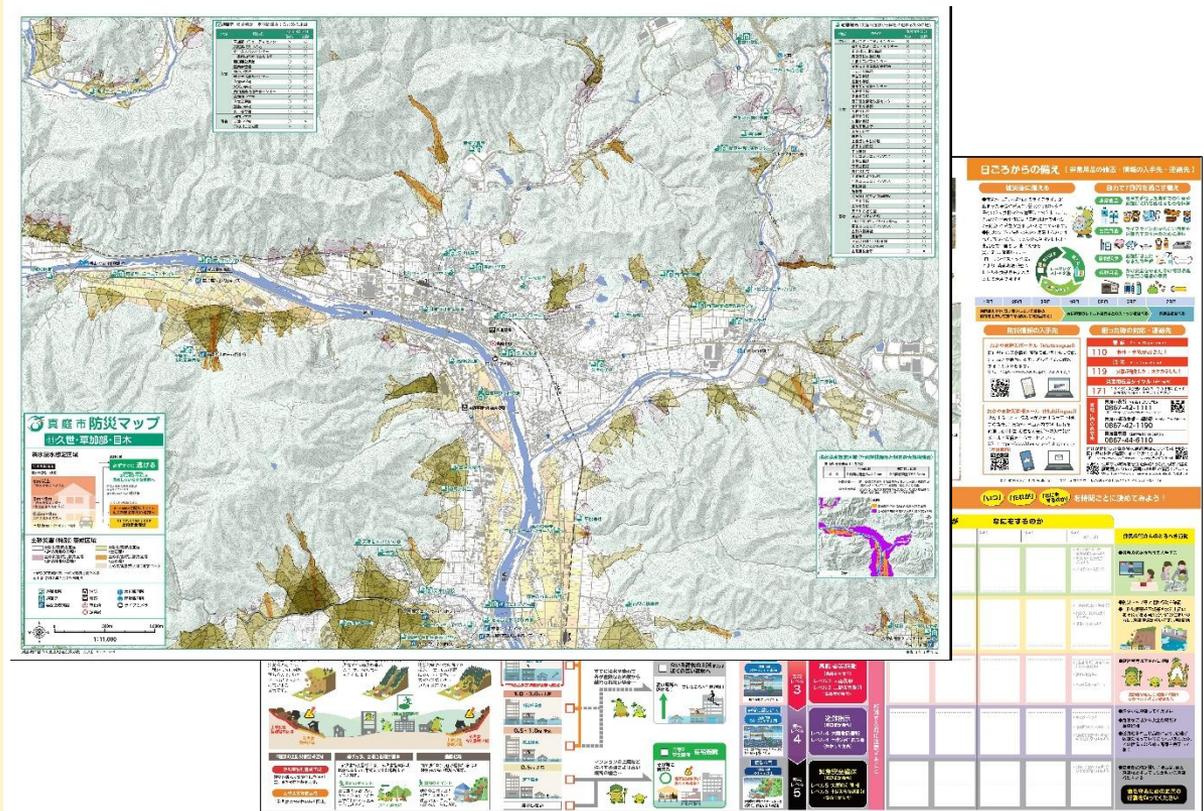
大雨による**洪水**、または**土砂災害**が発生した際に、適切な避難行動を確認できるよう、防災マップを作成しました。

防災マップ作成の背景と目的 ～現行の防災マップ～

真庭市では、**令和3年**に洪水と土砂災害を対象とした「真庭市防災マップ」を作成し、市民の皆様配布しています。



【表紙】

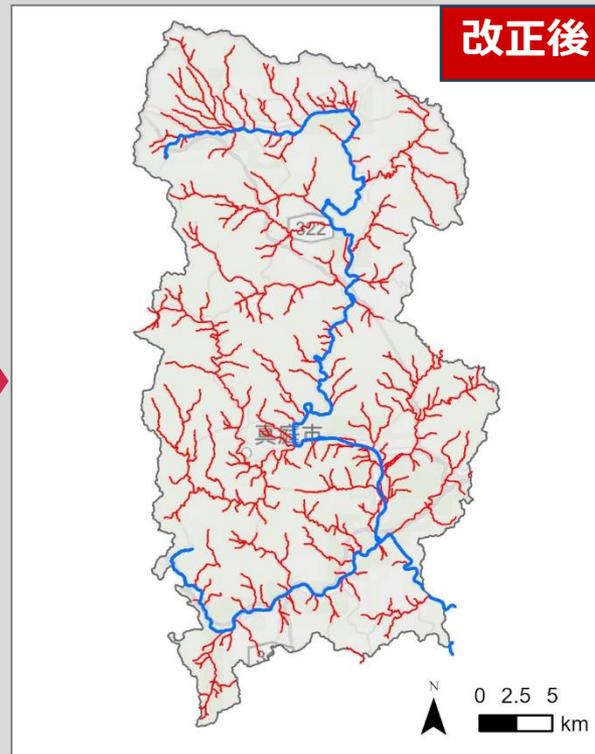
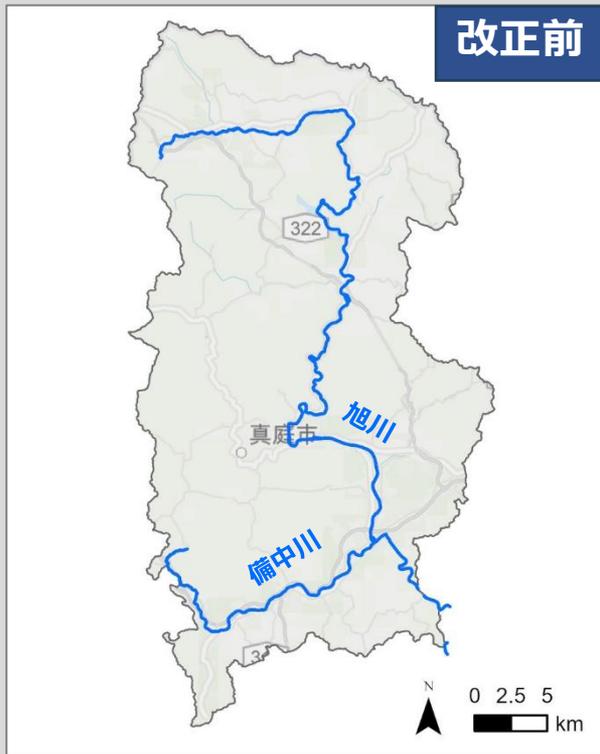


【地図面・情報面】

防災マップ作成の背景と目的 ～防災マップの主な更新内容～

「水防法等の一部を改正する法律」 (国土交通省 平成29年)

: 大規模な河川 (旭川、備中川) の洪水浸水想定区域に加え、
中小河川 (旭川流域95河川、備中川流域12河川) の洪水浸水想定区域を
表示する。



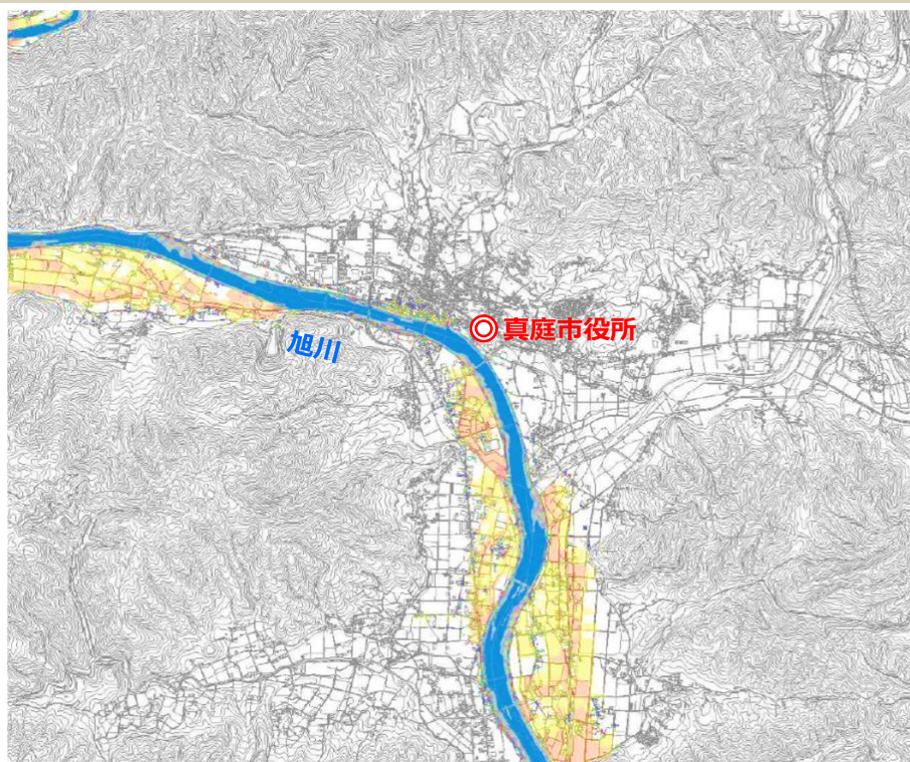
対象となる河川が
増えたことで、想定さ
れる洪水浸水想定区域
がこれまでのものとは
変わる。

— 大規模河川 — 中小河川

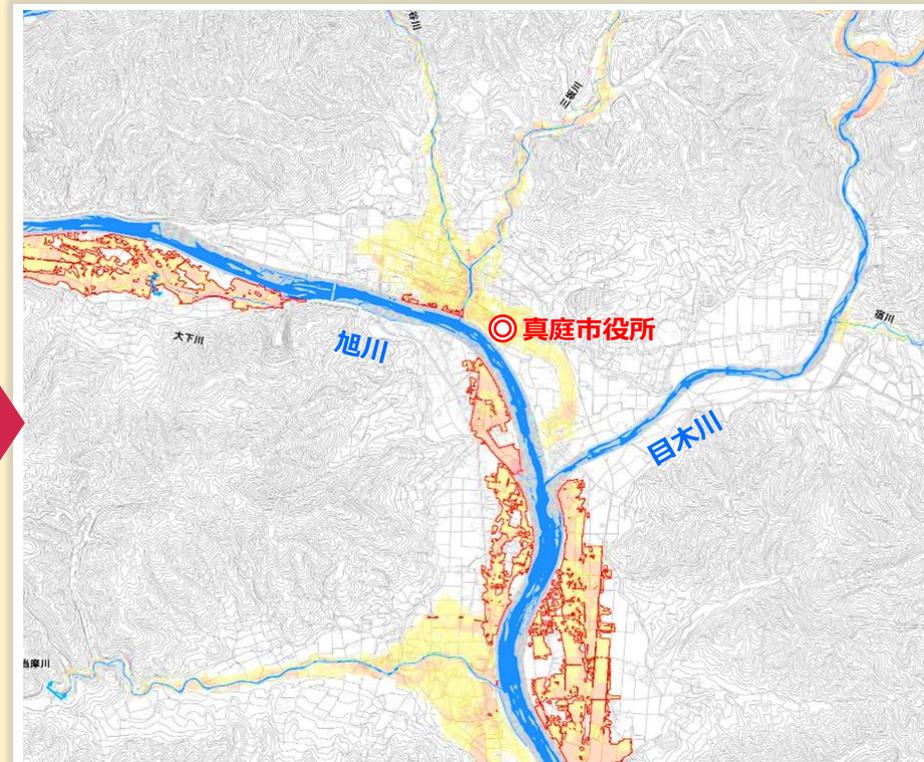
※追加された中小河川のうち、真庭市内の
河川を表示しています。

防災マップ作成の背景と目的

～防災マップの主な更新箇所～



(**現行**の洪水浸水想定区域図)



(**最新**の洪水浸水想定区域図)

出典：洪水浸水想定区域図（岡山県HP 河川課）

2. 防災マップの作成方針



防災マップの作成方針

～防災マップに表示している自然災害～



洪水浸水想定区域

：大雨や河川の氾濫によって浸水が発生する可能性のある区域



土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

：土砂災害（がけ崩れ・土石流・地すべり）が発生する可能性のある区域

防災マップの作成方針 ～洪水浸水想定区域～

国や岡山県が指定した河川において、**浸水が想定される区域**を洪水浸水想定区域として指定しています。



浸水想定の種類

地図面に表示

- **計画規模** : **10～200年**に1回程度の割合で発生する降雨量を基に、対象河川が氾濫した場合の浸水を解析し、シミュレーションにより予測したもの

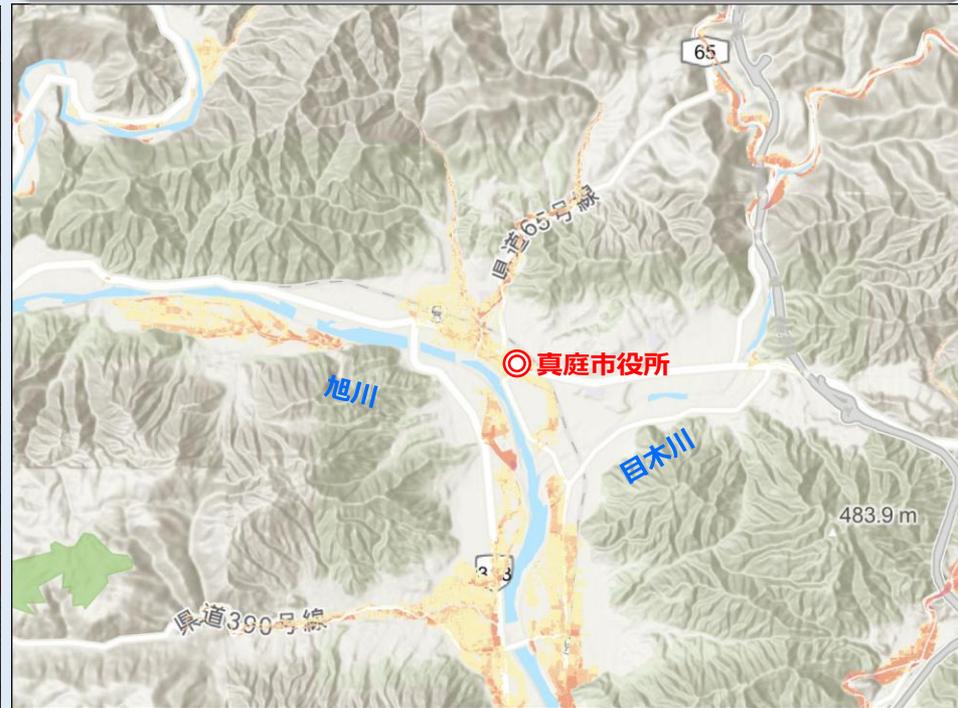
情報面に表示

- **想定最大規模** : **1,000年**に1回程度の割合で発生する降雨量を基に、対象河川が氾濫した場合の浸水を解析し、シミュレーションにより予測したもの

防災マップ作成の方針 ~想定最大規模と計画規模~

想定最大規模 (1回/ 1,000年)

計画規模 (1回/10~200年)



0.5m未満

1.0~3.0m以上

5.0~10.0m以上

0.5~1.0m以上

3.0~5.0m以上

10.0m以上



0 1 2 km

防災マップ作成の方針 ~洪水浸水想定区域の表示~



計画規模と想定最大規模では、**浸水の範囲・深さが大きく異なります。**

防災マップ作成の方針

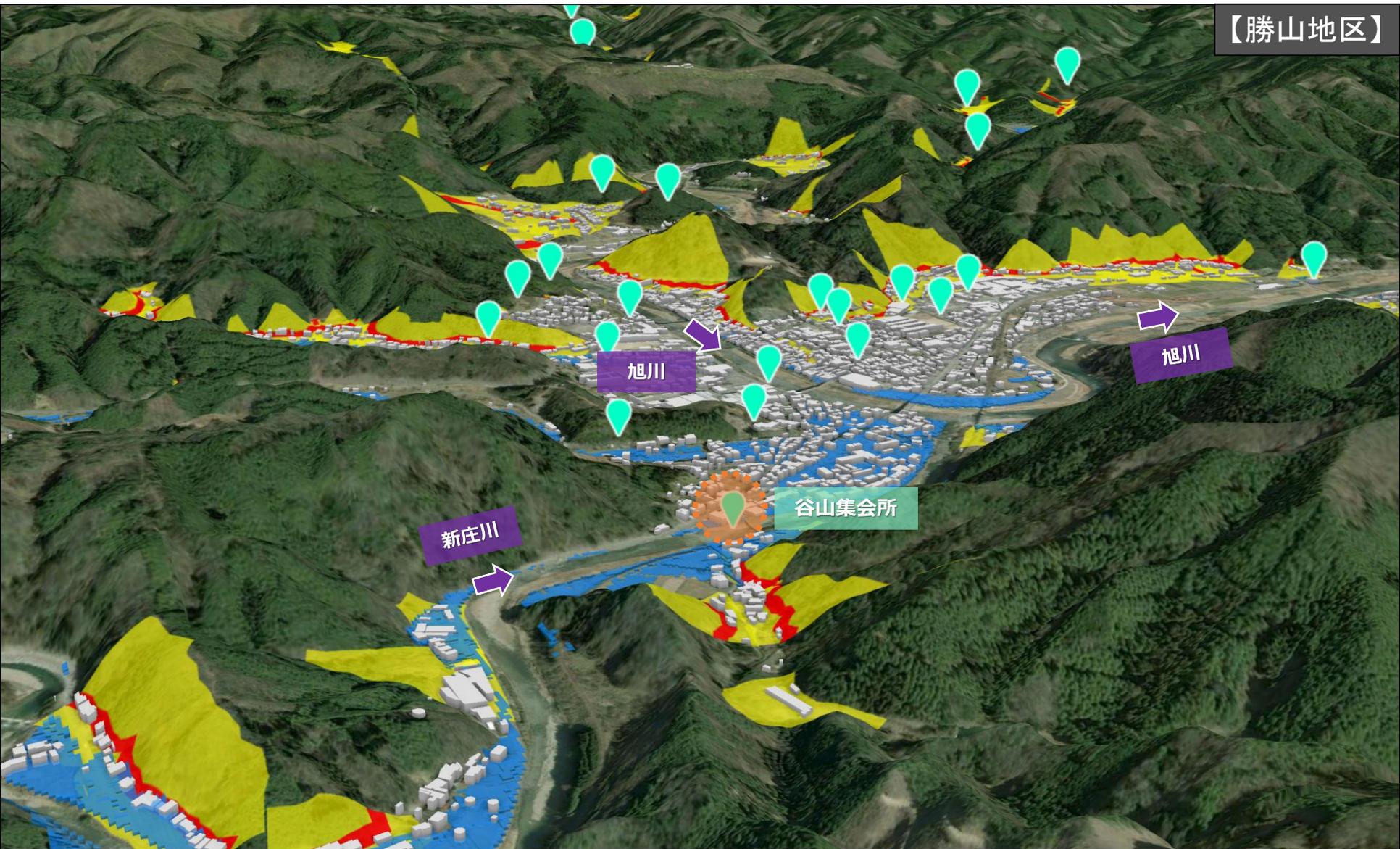
国の指針では、想定最大規模を地図面に表示することを基本としていますが、地域特性を踏まえ、適切な避難行動を検討するために**真庭市が作成する防災マップでは、計画規模による洪水浸水想定区域を表示**する方針としています。

！ 留意点

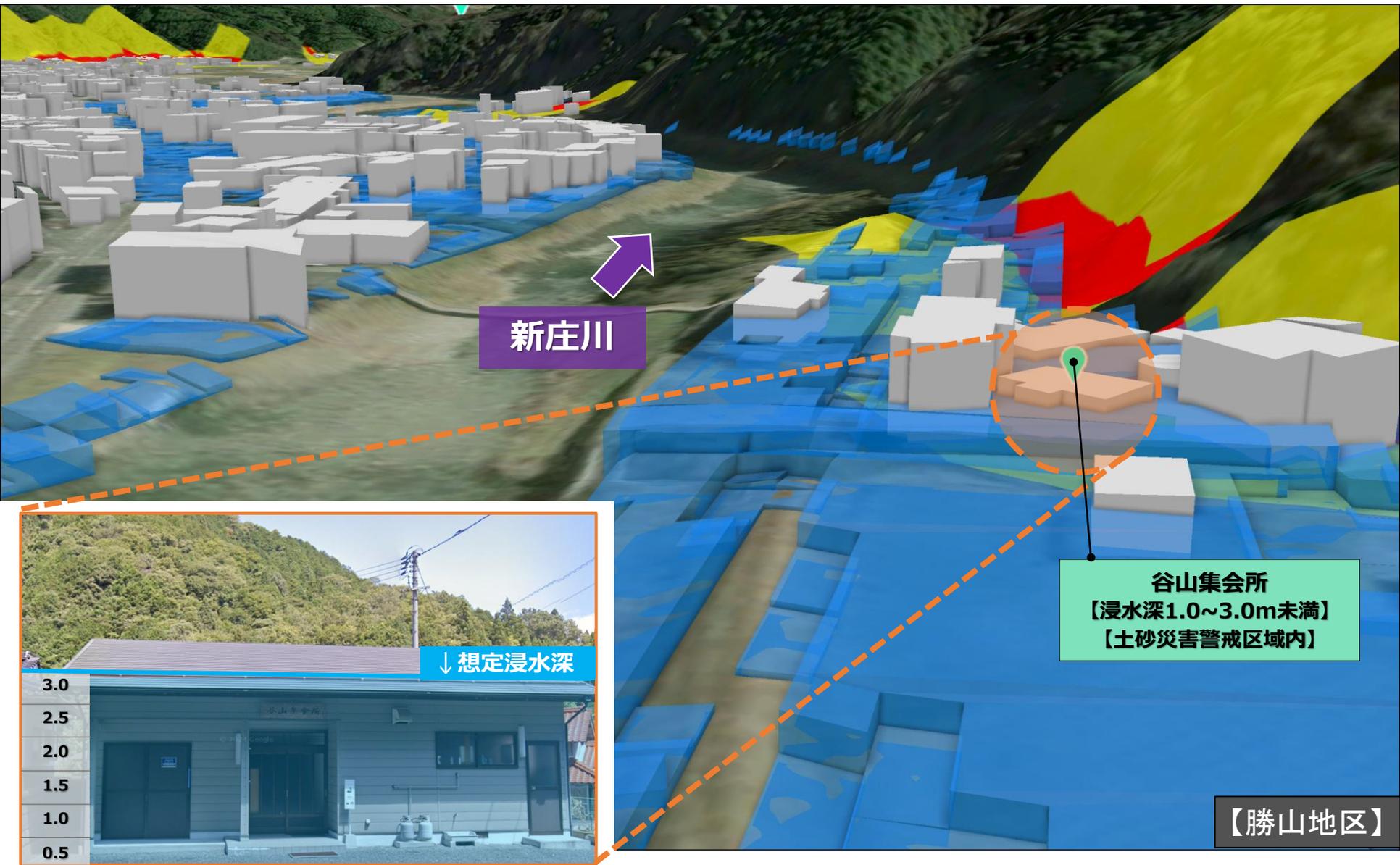
※不動産の売買等に関する情報が必要な場合には、**想定最大規模による洪水浸水想定区域を参考**にしてください。

防災マップ作成の方針 ～旭川の浸水想定（計画規模）～

【勝山地区】



防災マップ作成の方針 ～旭川の浸水想定（計画規模）～

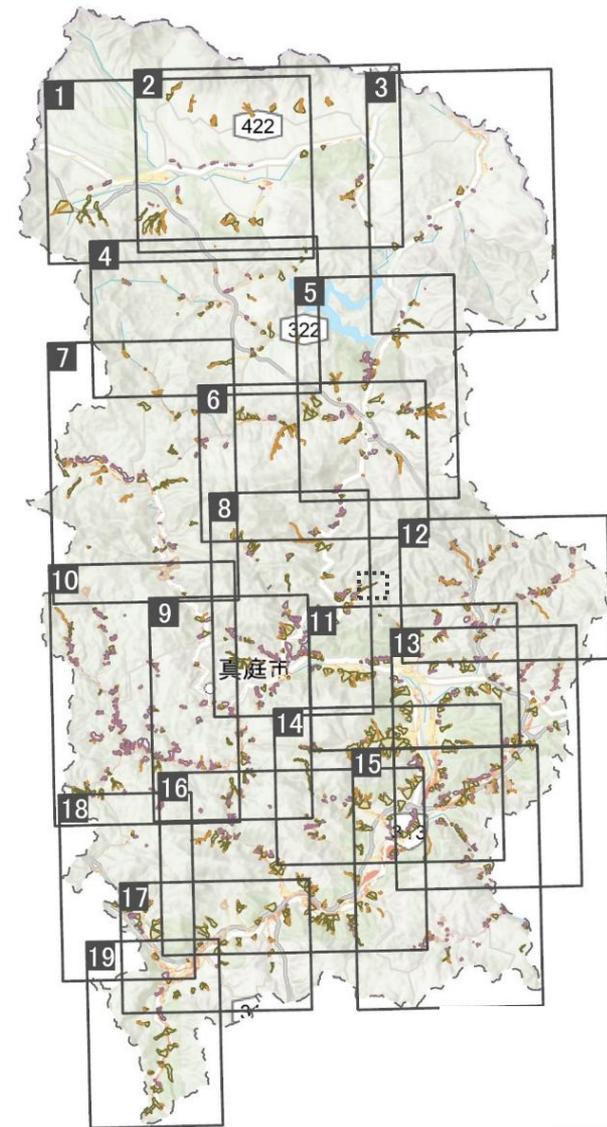


3. 防災マップの読み方・使い方



防災マップの読み方・使い方 ~防災マップの地区割り~

No.	地区名	No.	地区名
1	川上	11	久世・草加部・目木
2	八束	12	余野・檜邑
3	中和	13	川東・河内
4	二川	14	落合・天津
5	湯原①	15	津田・上山
6	湯原②	16	木山・美川
7	美甘	17	上水田・水田
8	勝山①	18	砦部・阿口
9	勝山②・月田	19	中津井
10	富原		

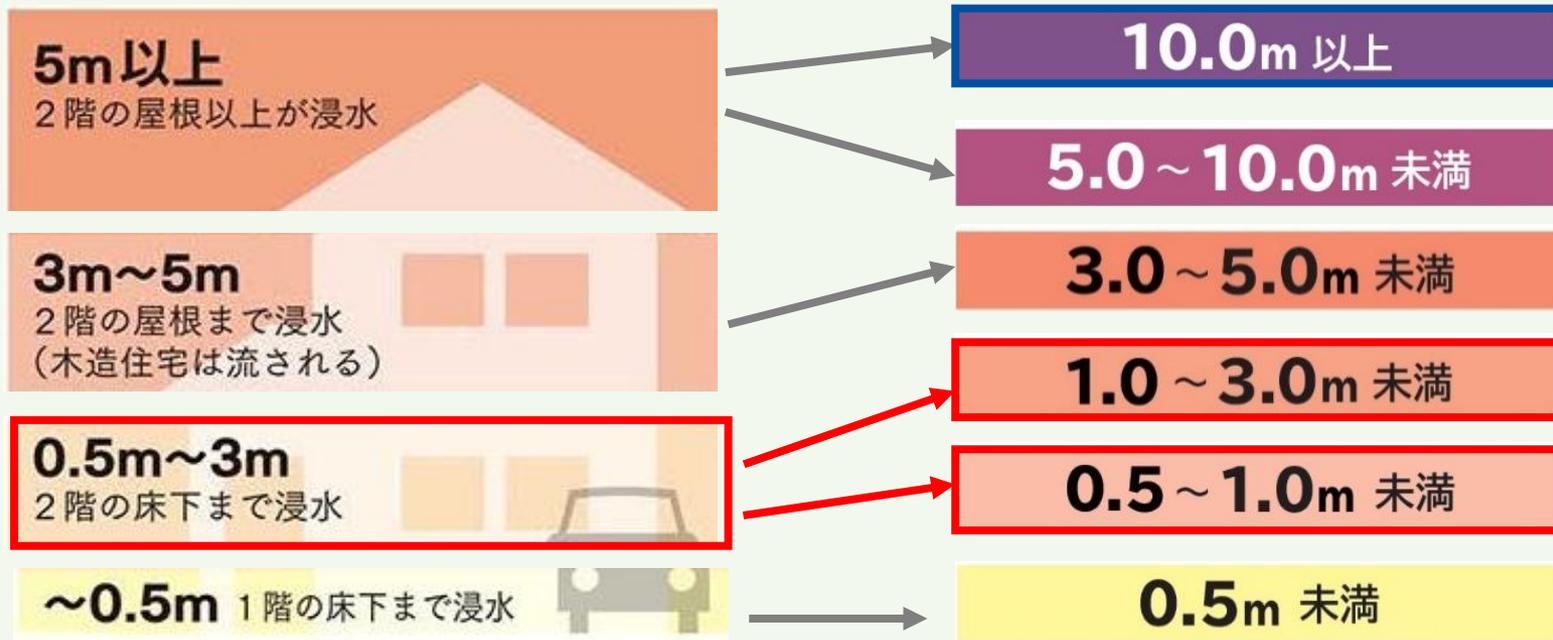


- ・ 真庭市を**19**の地区に分割しています。
- ・ 概ね現行の防災マップと同じ表示範囲ですが、**災害情報の追加等により、新たに追加/見直しを行った地区があります。**

洪水浸水想定区域

主な変更点

現行の防災マップでは4つの浸水区分でしたが、本防災マップでは、状況に応じて適切な避難行動を検討するため、以下図の区分に見直しました。



※該当地区のみ表示

(**現行**の防災マップ)

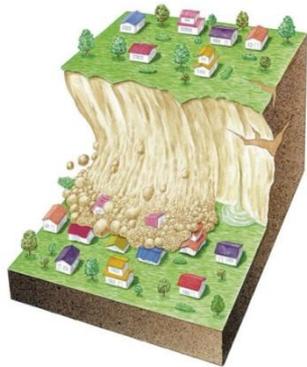
(**最新**の防災マップ)

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

出典：NPO法人土砂災害防止広報センター

がけ崩れ

雨や地震等の影響によって、**斜面が急激に崩れ落ちる**現象。突然崩れ落ちるため、家の近くで起きると逃げ遅れる可能性がある。



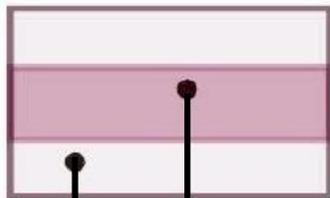
土石流

山や谷の土砂が大雨等で崩れ、**一気に下流へと押し流される**現象。時速20～40kmという速度で、一瞬のうちに家や畑などを壊滅させてしまう。

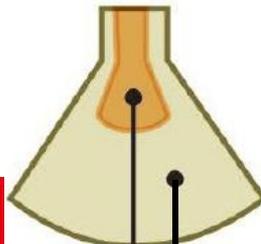


地すべり

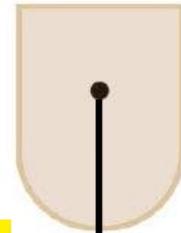
斜面が地下水の影響と重力によって、**ゆっくりと斜面下方に移動する**現象。一旦動き出すと完全に停止させることは困難で、甚大な被害となる。



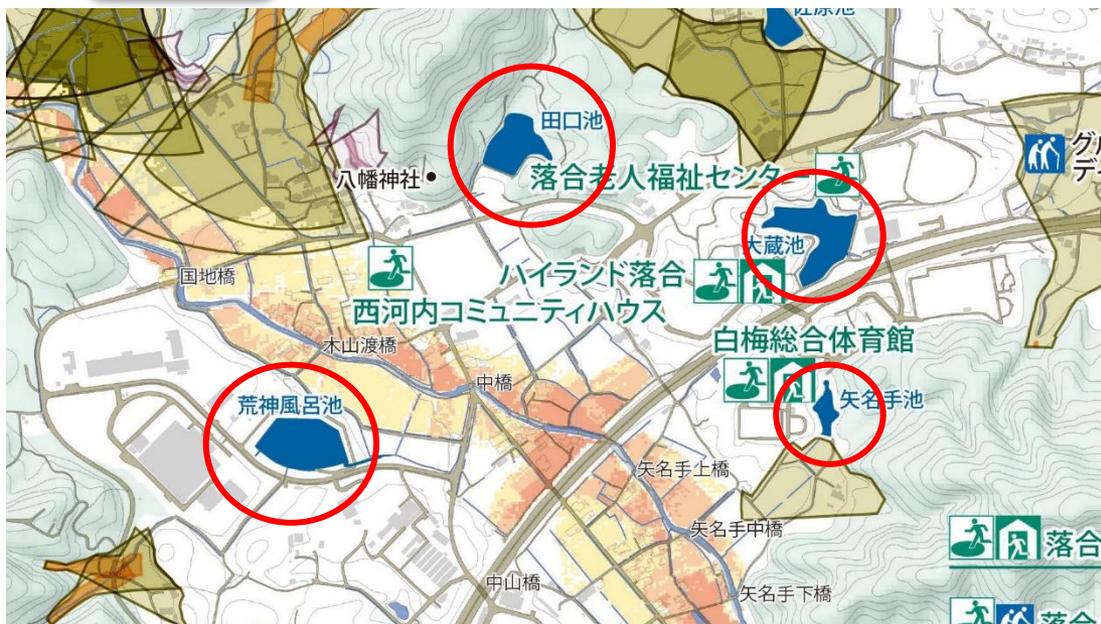
土砂災害特別警戒区域
(レッドゾーン)



土砂災害警戒区域
(イエローゾーン)



防災重点ため池



決壊のおそれ

防災重点ため池

【荒神風呂池】



出典：Google ストリートビュー（2024年6月撮影）

? 防災重点ため池とは

集中豪雨や長雨の影響によって決壊した際に、**下流の住宅などに甚大な被害が発生するおそれがあるため池**として岡山県が指定したため池。自宅の周辺にため池があるか確認し、ある場合は、早めの避難を心がけましょう。

避難する際の危険箇所



道路冠水のおそれ



アンダーパス



出典：Google ストリートビュー（2024年6月撮影）

? アンダーパスとは

交差する鉄道や道路などの下を通過するため、
 周辺の地面よりも低くなっている道路のこと。
 地形的に雨水が集中しやすいため、
**大雨などの際に、自動車で侵入することは
 大変危険な場所となります。**

指定緊急避難場所・指定避難所



指定緊急避難場所

(例：高瀬公民館、Nikko真庭店)

指定緊急避難場所：自然災害から一時的、緊急的に避難する場所



指定緊急避難場所 兼 指定避難所

(例：久世エスパスセンター、久世中学校)

指定緊急避難場所と指定避難所の役割を兼ね備える施設

指定避難所：被災者等を必要な期間滞在させるための施設

自然災害時に
利用可能な
施設を掲載

- 市が指定する避難場所だけでなく、**安全な場所に住んでいる親戚・知人宅に避難すること**も考えてみましょう。
- 避難指示等の発令情報、開設情報は**HPやスマートフォン**で確認できます。



【おかやま防災ポータル (Multilingual)】

URL: <https://www.bousai.pref.okayama.jp>



要配慮者利用施設

：災害時に特に配慮が必要な人々である高齢者、障がい者、子供などが利用する施設

災害情報の区域内に含まれる施設を掲載

家族や親戚が日常的に使用する施設が該当するか確認してみましょう。

※注) **災害時の避難先ではない**ため、お近くの避難所を確認しましょう。

裏面の地図を見て、自宅が安全か確認しよう

浸水想定区域
の中に入っている？



災害発生の
リスクあり

安全な場所へ
逃げよう

土砂災害警戒(特別)区域
の中に入っている？



入ってる

入ってない

在宅避難

家での備えが必須!

日ごろから備えよう

- ・ 指定緊急避難場所への避難が難しい場合（避難先までの距離が長いなど）、**状況によっては自宅（在宅）避難となります。**
- ・ 自宅（在宅）避難に備え、食糧備蓄の目安として「**最低3日分、できれば1週間分**」の備蓄をしておきましょう。

自力で7日間を過ごす備え

非常食品

安全を確認した自宅での生活や避難所に持ち出せるものを備蓄



生活用品

ライフラインが戻らない自宅や避難先での生活のために準備



感染症対策

避難所は密になるため準備



避難用品

身の安全を守るための情報収集や生活必需品の準備



ローリングストック法

防災のために特別なものを用意するのではなく、普段からちょっと多めに食材やレトルト食品を買い置きし、食べた分を買い足し、備蓄していく方法を「ローリングストック法」といいます。

ローリングストック法によって、消費期限が短いレトルト食品等も非常食として活用できます。



防災情報の入手先



(登録無料)

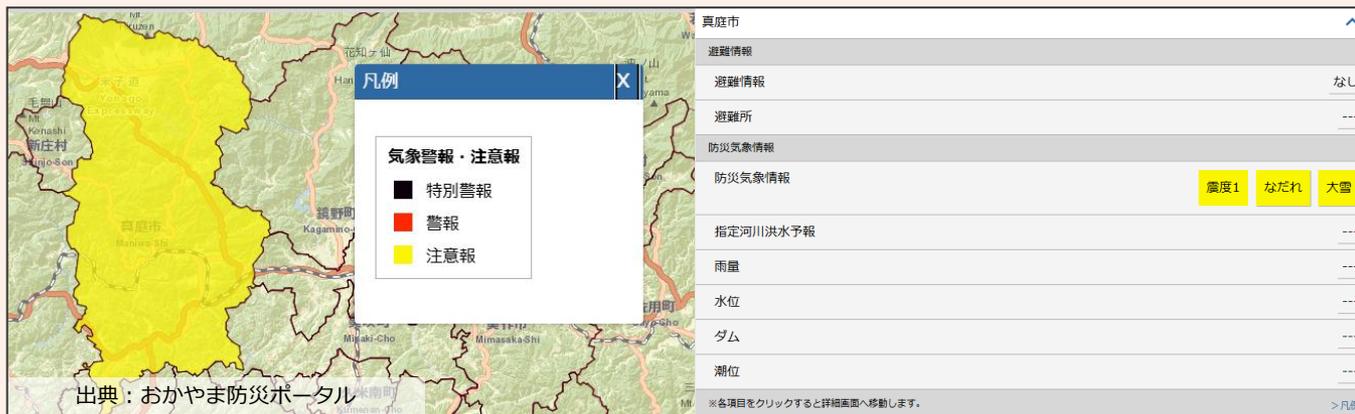
「おかやま防災情報メール (Multilingual)」

気象台が発表する大雨、洪水等の警報・注意報や、岡山県内で観測された雨量、河川水位、潮位など最新の防災情報がメールで配信されます。
メールの受信には事前登録が必要になります。



「おかやま防災ポータル (Multilingual)」

岡山県内の防災気象情報、避難情報、河川水位情報、河川カメラ情報などをリアルタイムで確認することができます。



防災気象情報ととるべき行動

出典：新たな防災気象情報の運用について（国土交通省）

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	高潮 海水面の上昇や波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民がとるべき行動
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
<警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！>					
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル1	早期注意情報				災害への心構えを高める

主な変更点

災害毎に、5段階の警戒レベルに応じた防災気象情報が発令されるようになりました。

※防災気象情報は令和8年5月下旬より運用開始予定の情報です。

事前に決めておこう!

わが家の「マイ・タイムライン」

「いつ」

「だれが」

「なにを
するのか」

を時間ごとに決めてみよう!



周囲の状況(参考) <small>※雨量は目安であり、実際の警戒レベルは前後する場合があります</small>	警戒レベル	避難情報・防災気象情報 <small>※防災気象情報は令和8年5月下旬より運用開始予定の情報を掲載しています</small>	行動目安
晴れ・曇り 台風や前線の影響で数日後に大雨の予報がでている	警戒レベル 1	早期注意情報 (気象庁が発表)	大雨になるまでに
強い雨 1時間雨量 20~30mm未滿 地面一面に水たまりができる	警戒レベル 2	レベル2 大雨注意報 レベル2 土砂災害注意報 (気象庁が発表)	避難前に確認すること
激しい雨 1時間雨量 30~50mm未滿 道路が川のようになる	警戒レベル 3	高齢者等避難 (真庭市が発令) レベル3 大雨警報 レベル3 土砂災害警報 (気象庁が発表)	避難する時に注意すること
非常に激しい雨 1時間雨量 50~80mm未滿 水しぶきで辺り一面が日っぽくなり冠水状態になる	警戒レベル 4	避難指示 (真庭市が発令) レベル4 大雨危険警報 レベル4 土砂災害危険警報 (気象庁が発表)	
猛烈な雨 1時間雨量 80mm以上 大規模な災害が発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要	警戒レベル 5	緊急安全確保 (真庭市が発令) レベル5 大雨特別警報 レベル5 土砂災害特別警報 (気象庁が発表)	

だれが		なにをするのか		
なまえ	なまえ	なまえ	なまえ	なまえ ※記入例
				<ul style="list-style-type: none"> テレビやスマホで気象情報を確認する 家族の行動予定を確認する 携帯電話を充電する
				<ul style="list-style-type: none"> 非常用持出袋を準備する 避難先、避難経路を確認する 貴重品を確認する
				<ul style="list-style-type: none"> (高齢者等) 避難所の〇〇へ移動する 親戚に電話する ガスの元栓を確認する
				<ul style="list-style-type: none"> 家の鍵を閉める 避難所の〇〇へ移動する (自宅で避難する場合) 安全な部屋へ移動する
				<ul style="list-style-type: none"> (自宅で避難する場合) 安全な部屋へ移動する

住民の皆さんのとるべき行動

- 最新の気象情報等入手する
- 防災マップ等で避難行動を確認
●土砂災害警戒区域等や水位上昇のおそれがある河川沿いにお住まいの方は、避難準備が整い次第、避難開始
- 高齢者等は速やかに避難

高齢者や乳幼児、避難に時間がかかったり補助が必要な人
- 速やかに避難してください
- 危険な区域から安全な場所に全員避難
- 道路冠水や土砂崩れにより、避難が困難になっているおそれがあるため、この状況になる前に避難を完了しておく
- 立退き避難が難しい場合は、垂直避難など少しでも命が助かる避難行動をとる

命を守るための最善の行動を取ってください

マイ・タイムライン 記入例

なまえ **防災 太郎**

警戒レベル 1

- テレビやスマホで気象情報を確認する
- 家族の行動予定を確認する
- 携帯電話を充電する

警戒レベル 2

- 非常用持出袋を準備する
- 避難先、避難経路を確認する
- 貴重品を確認する

警戒レベル 3

- (高齢者等) 避難所の〇〇へ移動する
- 親戚に電話する
- ガスの元栓を確認する

警戒レベル 4

- 家の鍵を閉める
- 避難所の〇〇へ移動する
- (自宅で避難する場合) 安全な部屋へ移動する

警戒レベル 5

- (自宅で避難する場合) 安全な部屋へ移動する

なまえ **※記入例**

- テレビやスマホで気象情報を確認する
- 家族の行動予定を確認する
- 携帯電話を充電する

- 非常用持出袋を準備する
- 避難先、避難経路を確認する
- 貴重品を確認する

- (高齢者等) 避難所の〇〇へ移動する
- 親戚に電話する
- ガスの元栓を確認する

- 家の鍵を閉める
- 避難所の〇〇へ移動する
- (自宅で避難する場合) 安全な部屋へ移動する

- (自宅で避難する場合) 安全な部屋へ移動する

住民の皆さんのとるべき行動

●最新の気象情報等入手する



●防災マップ等で避難行動を確認
●土砂災害警戒区域等や水位上昇のおそれがある河川沿いにお住まいの方は、避難準備が整い次第、避難開始



●高齢者等は速やかに避難



高齢者や乳幼児、避難に時間がかかったり補助が必要な人

●速やかに避難してください

●危険な区域から安全な場所に全員避難

●(道路冠水や土砂崩れにより、避難が困難になっているおそれがあるため、この状況になる前に避難を完了しておく

●立退き避難が難しい場合は、垂直避難など少しでも命が助かる避難行動をとる

命を守るための最善の行動を取ってください

ご清聴ありがとうございました。

日頃から防災マップを確認し、ご家庭やご近所でも

「いつ」「だれが」「どのように」避難するか
話し合いをしておきましょう。

その上で、「いざ」という時には、身の安全を
最優先に、早めの避難を心がけるよう
お願いいたします。

真庭市 市長直轄組織 危機管理課

〒719-3292 岡山県真庭市久世2927-2

株式会社パスコ

〒730-0037 広島県広島市中区中町3番11号

中四国事業部 技術センター 空間情報部 社会情報課